

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三条神宮道 新築工事	階数	地上5F
建設地	京都府京都市東山区三条通白川橋	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第二種住居地域、法	平均居住人員	74 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 予定	評価の実施日	2013年12月1日
敷地面積	1,083 m ²	作成者	アーネスト京都
建築面積	656 m ²	確認日	2014年10月1日
延床面積	3,041 m ²	確認者	ミサワホーム近畿



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 92%
③上記+②以外の 92%
④上記+ 92%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
	0	
Q1 室内環境 開口部の遮音性を高め、室内音環境の向上に配慮。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い材料を使用し、利用者・環境への負担を軽減	Q3 室外環境 (敷地内) 風致、景観条例に則り、地域景観保全に配慮した計画
LR1 エネルギー 太陽光パネルを設置し、省エネルギー・CO2排出量削減に貢献	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される